

# CASBEE® 建築物総合環境計画概要書 新築

大阪 みらい

■使用評価マニュアル: CASBEE大阪みらい(新築) | 使用評価ソフト: 「CASBEE大阪みらい 新築」2024年度版 (v.1.0.1)

1-1 建物概要		1-2 外観
建物名称	(仮称)浪速区元町一丁目計画 新築工事	
建設地	大阪府大阪市浪速区元町1丁目1-7 外	
建物用途	ホテル	
建築主	日鉄興和不動産株式会社 常務取締役 都市事業本部長 宇井 圭介	
設計者	株式会社東急設計コンサルタント西日本支店 一級建築士事務所 尾田 岳志	
竣工年	2028年2月 予定	
構造/階数	S造 / 地上13階	
敷地面積	647.64 m <sup>2</sup>	
建築面積	495.47 m <sup>2</sup>	
延床面積	4261.81 m <sup>2</sup>	

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ホールライフカーボン (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)
<p><b>B+</b> BEE = 1.3</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>★☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 100% ②建築物の取組み 81% ③上記+②以外のオンサイト手法 81% ④上記+オフサイト手法 81%</p> <p>(kg-CO<sub>2</sub>eqe/年・m<sup>2</sup>)</p> <p>このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたWLC排出量の目安で示したものです。 ④は参考として運用分をBEI+で表示しています。</p>	

2-4 中項目の評価 (バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b> Qのスコア = 3.3</p>		
<p><b>Q1 室内環境</b> Q1のスコア = 3.3</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> Q2のスコア = 3.4</p>	<p><b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> Q3のスコア = 3.4</p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b> LRのスコア = 3.1</p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b> LR1のスコア = 2.9</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> LR2のスコア = 3.3</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> LR3のスコア = 3.3</p>

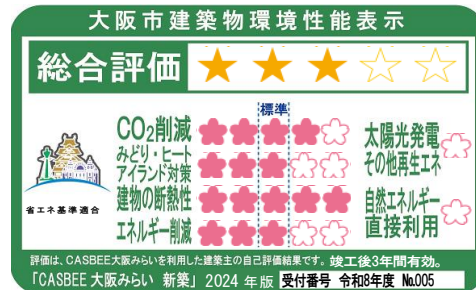
3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>大阪市浪速区に建設予定のホテルの計画である。 外皮性能を高め、高効率な設備機器の導入により環境負荷の低減を図っている。</p>		<p><b>その他</b></p> <p>特になし。</p>
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>開口部の遮音性を高め、屋内の音環境に配慮している。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>各客室にGbitクラスのブロードバンドが利用可能な環境を整備している。</p>	<p><b>Q3 室外環境 (敷地内)</b></p> <p>耐用年数の長い配管材料を採用し、建物の耐用性の向上に配慮している。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>植栽による修景、視点場からの外観パースによる検討等、良好な景観形成へ配慮した取り組みがある。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>外皮性能を高め、高効率な設備システムを導入することで省エネルギー化を図っている。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>OAフロアの採用によって部材の再利用可能性向上を図り、躯体と仕上材の分離を容易にすることで、解体時におけるリサイクルを促進させる対策がある。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。  
 ■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.3

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.7
配慮事項	WLC排出率の削減に配慮している。	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	3.0
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	3.0
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	3.0
配慮事項		

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	5.0
配慮事項	断熱性能の高い建材を使用している。	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	2.5
配慮事項		

## 省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

- ※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
- ※ 住宅部分の一次エネルギー消費量については、BEIが1.0以下であること
- ※ 非住宅部分の一次エネルギー消費量については、「建築物エネルギー消費性能基準等を定省令(以下、「省令」という)」第1条第1項第1号もしくは、省令第1条第1項第3号に掲げる基準であること。

外皮性能	住宅部分(品確法等級) 対象外 (相当)	非住宅部分[BPI][BPI <sub>m</sub> ] 0.65
一次エネルギー消費量	住宅部分[BEI] -	非住宅部分[BEI][BEI <sub>m</sub> ] 0.75